

スマートフォン iPhone基本編



iPhoneの 基本操作について知ろう

令和7年4月



目次

1. 音声入力や音声補助による操作

- 1-A Siri(シリ)とは……………P2
- 1-B Siriを使ってみよう……………P4
- 1-C VoiceOver(ボイスオーバー)とは……………P6

2. Voice Overを使用中のジェスチャー操作

- 2-A ジェスチャーとは……………P9
- 2-B タッチ……………P10
- 2-C タップ……………P11
- 2-D スワイプ……………P14
- 2-E ローター……………P17

3. アプリについて

- 3-A アプリとは……………P21
- 3-B アプリの起動と終了……………P22

1 音声入力や音声補助による操作

Siriとは、iPhoneやiPadに搭載された、話しかけるだけでスマホの操作を代行してくれる「音声アシスタント機能」の事です。連絡先に登録した相手に声だけで電話をかけたり、メールやLINEなどを送ることも可能です。

その他にもインターネットの検索やカレンダーへの予定の登録や確認、目覚ましやタイマーの設定など、色々なことに利用可能です。Siriで出来ることは日々増えていて、今後も益々便利な機能になることでしょう。

ただし、iPhoneの種類やiOS（アイオーエス）のバージョンによっては、インターネットに接続した環境でなければ使用できない点があるので注意が必要です。

※iPhone XS 以上 iOS 15 以上では、オフラインで使用可能です

Siriの利用方法

ポポンという合図音が聞こえるまでホームボタンを長押しし、「〇〇さんに電話をかけて」のようにやってほしいことを頼みます。

言い間違えたり、わからなくなったら、ホームボタンを短く押すだけでキャンセル出来ます。色々と試してみましよう。

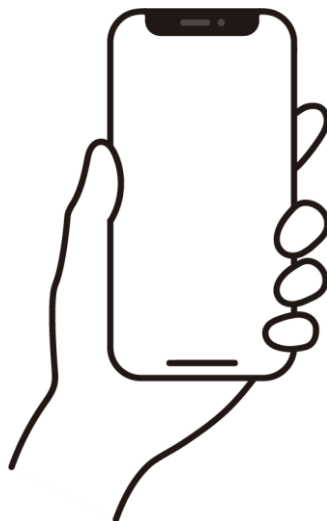
ホームボタンの無い機種は、ホームボタンの代わりにサイドボタンを使用します。

Siriを起動して、「こんにちは！」と話しかけてみましょう。
すると、「何かおてつだいできることはありますか？」と返答します。
続けて、「今日は何の日？」と尋ねましょう。

①Siriを起動して、「今、何時？」と
話しかけてみましょう。

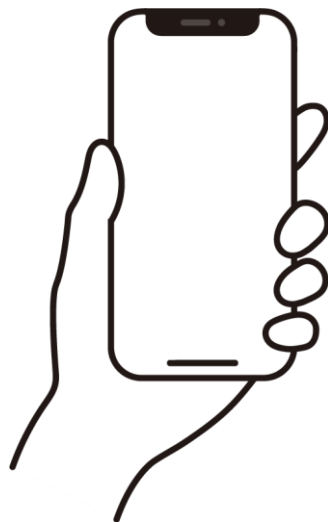
②Siriを起動して、「明日の天気は？」と
話しかけてみましょう。

今、何時？



明日の天気は？

③Siriを起動して、
「明日6時に起こして」とお願いして
アラームを設定してみましょう。



明日6時に
起こして

間違った時間にアラームを設定してしまった場合は、Siriに「アラームを削除」と言うと、簡単に削除することが可能です。複数のアラームを設定している場合は、設定時間を尋ねられるので、削除したいアラームの時間を伝えます。

VoiceOverとは、iPhoneやiPadなどに初めから内蔵された画面読み上げ機能の事です。

VoiceOverを使用した状態で画面に触れるなどすることで、目の見えない・見えにくい方も音声による説明で画面状況を確認することが可能です。また、Siriとの組み合わせによって、より多くの情報を得ることが可能となっています。

さらに、電話をかけてきた相手やメールを送ってきた相手の名前を読み上げるなど、従来のらくらくホンなどのガラケーと同じような機能も備えています。

Siri を利用した VoiceOver の有効化

ポポンという合図音が聞こえるまでホームボタンを長押しして、「ボイスオーバーオン」と言います。「ボイスオーバーがオンになりました」という音声聞こえたら、ホームボタンを短く1回押します。

「ボイスオーバーオン」のオンの部分をオフと言い換えることでVoiceOverを終了することも可能です。

ホームボタンの無い機種では、ホームボタンの代わりにサイドボタンを使用します。

※VoiceOverの機能は、購入直後はオフの状態です

※ VoiceOverの設定方法が分からない場合は携帯ショップで設定してもらいましょう

2 VoiceOverを使用中の ジェスチャー操作

※ ここで紹介する以外にも多くのジェスチャーがあります

iPhoneやiPadには、パソコンのようにマウスやキーボードがついていません。また、本体には、サイドボタンや音量調整といった限られたボタンしかなく、Siriを使用しない場合は、タッチパネル画面を指で触って操作する作りとなっています。

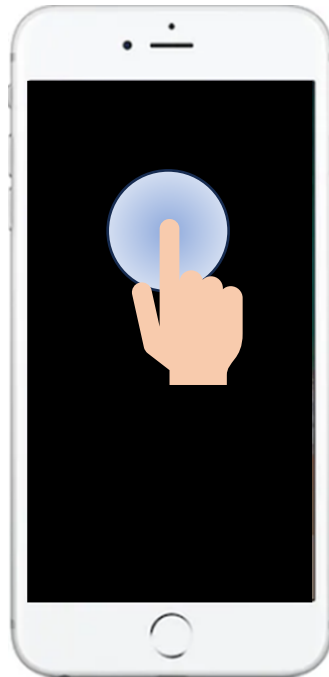
この指で決まった動きをすることで特定の操作ができる機能を「ジェスチャー」と言います。「ジェスチャー」には様々な動きがあり、いくつかの「ジェスチャー」を覚えておくことで、目が見えない・見えにくい方もiPhoneやiPadの操作が可能となっています。

VoiceOver中のジェスチャー操作について

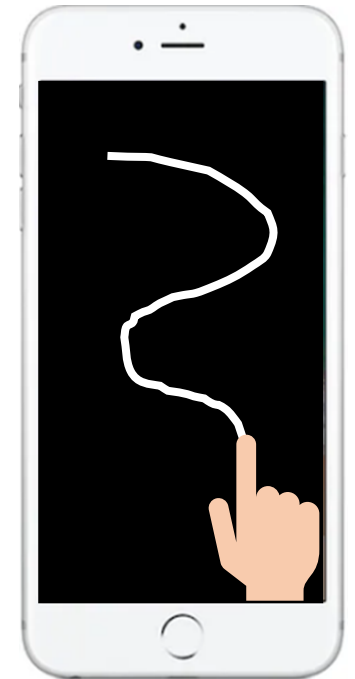
VoiceOverを起動している時とそうでない時では、同じジェスチャーを使用しても効果が異なります。VoiceOverに慣れていない方に画面を操作してもらう場合は、Siri等によりVoiceOverの機能を無効にしてから操作してもらうことをお勧めします。

指先で画面に軽く触れる動作をタッチと言います。どの指を使用しても良いですが、指の腹で画面に触れることがポイントです。爪では反応しませんので、注意が必要です。

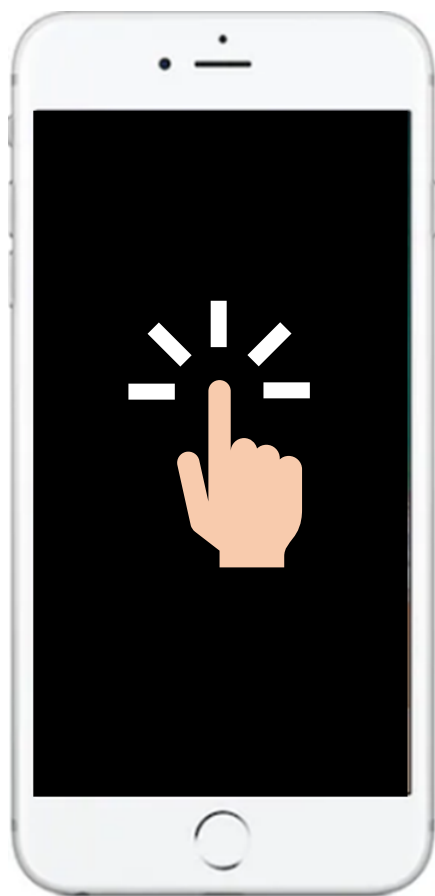
タッチ操作を行うと、画面に表示されたアイコンやボタン、文章など、指が触れた項目を選択して読み上げます。



タッチをしてから画面上で指を動かすスライドという操作があります。画面に触れた指を離さず、ゆっくりとなぞるように動かすことで、なぞった部分の指の下にある項目を順番に選択して、読み上げさせることができるため、範囲にある項目を探す場合に有効です。特に画面の四隅や左右の端、ホームボタンの近くにある項目を選択する際に便利です。



指で画面を素早くトンと叩く動作をタップと言います。タップには、画面を叩く回数や使用する指の本数によって様々な効果の違いがあります。



タップの呼び方は画面を叩く回数で次のように変わります。

- 1回叩く動作 ➡ シングルタップ
- 2回叩く動作 ➡ ダブルタップ
- 3回叩く動作 ➡ トリプルタップ
- 4回叩く動作 ➡ クワトロタップ

また、使用する指の本数により、2本指でダブルタップ(マジックタップ)、3本指でトリプルタップなどと表現します。

VoiceOverを使用中に使用頻度の高いタップ操作

・1本指でダブルタップ

ダブルタップとだけ表現される場合はこの操作を意味します。この動作を行うと、タッチやスライドで選択していた項目が有効になります。選択した項目がアイコンやボタンであれば、決定の役割となります。タップの際はトントンではなく、トンのリズムで素早くタップします。

・2本指でシングルタップ

この動作には、読み上げの一時停止や読み上げの再開の役割があります。

・2本指でダブルタップ

この動作には、電話応答や切断、音楽再生や停止、音声入力の開始や停止などの役割があります。通称「マジックタップ」とも呼ばれます。

VoiceOverを使用中に使用頻度の高いタップ操作

・3本指でシングルタップ

この動作には、画面の選択位置を読み上げる役割があります。

・3本指でダブルタップ

この動作には、ボイスオーバーの読み上げ停止や再開の役割があります。

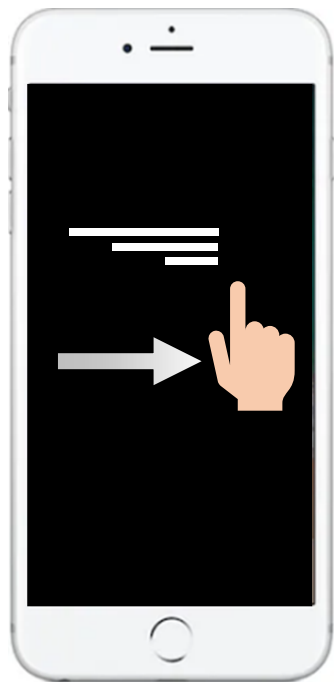
※別の章で紹介する画面のズーム機能を設定している場合は、3本指でトリプルタップを行う必要があります

・3本指でトリプルタップ

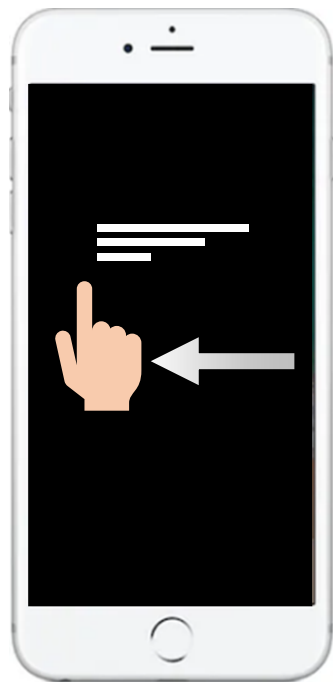
この動作は、スクリーンカーテンのオンやオフを切り替える役割があります。スクリーンカーテンとは、画面が暗くなり周囲の人から画面が見えなくなる機能のことです。

※別の章で紹介する画面のズーム機能を設定している場合は、3本指でクワトロタップを行う必要があります

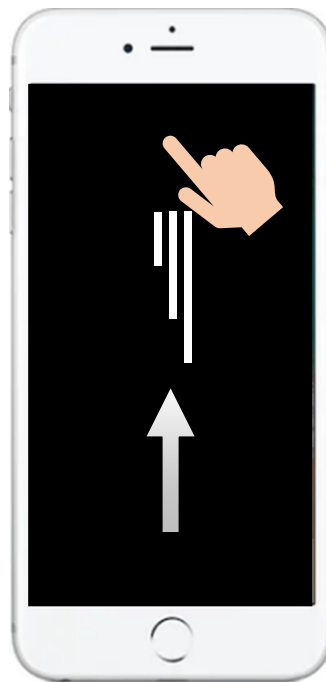
画面上のホコリを指で素早く払うイメージの動作をスワイプと言います。画面に指を置いてから動かすのではなく、必ず指を動かしながら画面に触れる必要があります。指を動かす方向により右スワイプや左スワイプ、上スワイプや下スワイプのように表現します。使用する指の本数によって、様々な効果の違いがあります。



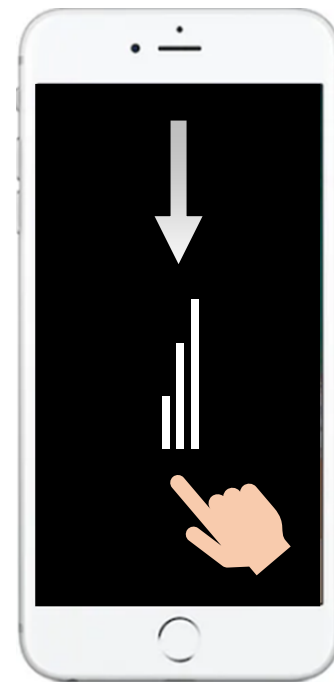
右スワイプ



左スワイプ



上スワイプ



下スワイプ

VoiceOverを使用中に使用頻度の高いスワイプ操作

・1本指で右スワイプ・左スワイプ

この動作は、画面に表示されたアイコンやボタン、文章などを、ひとつずつ選択して読み進めたり、戻ったりする際に使用します。右や左に1回スワイプすることにより項目がひとつ進んだり、戻ったりします。

・1本指で上スワイプ・下スワイプ

この動作を行うと、タッチや左右のスワイプで選択した項目に対してできることをひとつずつ切り替えることができます。選択している項目により、選べる内容は変わります。

VoiceOverを使用中に使用頻度の高いスワイプ操作

・2本指で上スワイプ

この動作を行うと、画面に表示された内容を、先頭から連続で読み上げます。

・2本指で下スワイプ

この動作を行うと、画面に表示された内容を、タッチやスワイプで選択した位置から連続で読み上げます。

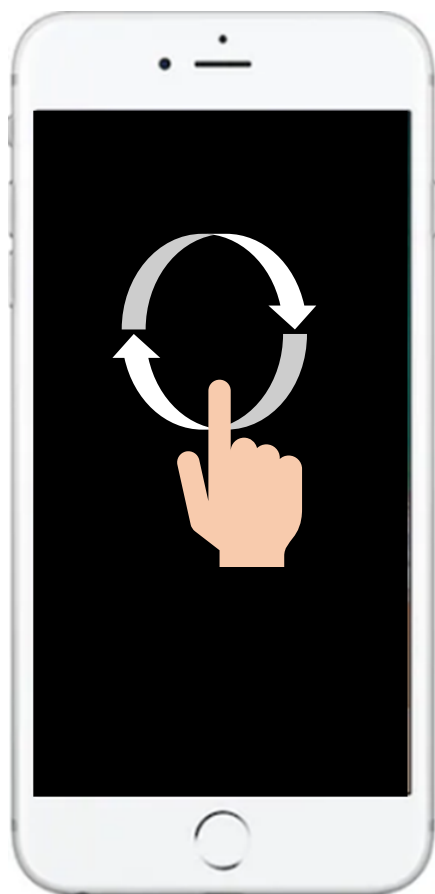
・3本指で上スワイプ・下スワイプ

この動作を行うと、画面表示を1ページ分、上や下にスクロール(移動)することができます。

・3本指で右スワイプ・左スワイプ

この動作を行うと、画面表示を1ページ分、右や左にスクロール(ずらす)することができます。

「ローター」とは、VoiceOverがオンの時のみに使えるバーチャルコントロール機能のことです。画面上の要素を素早く選択したり、特定の機能や設定に簡単にアクセスすることができます。



2本の指で、画面に置いた500円玉を押さえて回転させるイメージで指を動かします。この時、2本の指は距離を離して画面上に置きます。指を回転するように動かし続けると項目が変わっていきます。

一度に目的の項目まで動かす必要はないため、ある程度回転させたら一度指を離し、再度同じ操作を行い、目的の項目を読み上げるまで繰り返し行います。

よく使用されるローターの項目

設定場所は「設定→アクセシビリティ→VoiceOver→ローター」にあります

①文字

文字を選択後に、上や下にスワイプすることでタッチやスワイプで選択した位置から一文字ずつ読み進めたり、戻ったりすることが出来ます。文書編集操作の文字のコピーや削除で特に便利です。

②単語

単語を選択後に、上や下にスワイプすることでタッチやスワイプで選択した位置から一単語ずつ読み進めたり、戻ったりすることが出来ます。文書編集操作で単語単位に内容を飛ばし、文字単位の該当箇所をコピーや削除する場合に特に便利です。

③行

行を選択後に、上や下にスワイプすることでタッチやスワイプで選択した位置から一行ずつ読み進めたり、戻ったりすることが出来ます。左右スワイプだけで、まとめて読み上げる場合に特に便利です。

よく使用されるローターの項目

設定場所は「設定→アクセシビリティ→VoiceOver→ローター」にあります

④見出し

見出しを選択後に、上や下にスワイプすることで、画面内の次の見出しや前の見出しに素早く移動することが出来ます。Safari(サファリ)によるウェブページ操作で便利です。

⑤読み上げ速度

読み上げ速度を選択後に、上や下にスワイプすることで、VoiceOverの読み上げ速度を早くしたり、遅くしたりすることが出来ます。しかしローターを誤って選択したまま操作をし、速度を変えてしまい戻せなくなる場合があります。最初は速度変更は有効になっているものの、慣れるまでは無効にしておいた方が良いでしょう。

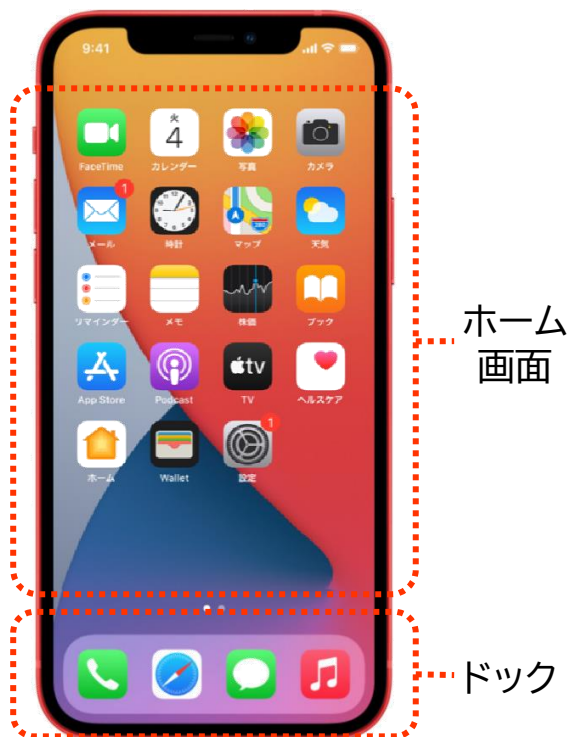
※ローターで出せる項目は多数あり、表示のオンオフや順番は設定により変更可能です

※設定場所は「設定→アクセシビリティ→ VoiceOver→ローター」にあります

3

アプリについて

アプリとはメールや地図など、特定の機能や目的をもって作られた専用のプログラムのことです。パソコンではソフトと呼称しますが、スマートフォンではアプリと呼称します。iPhoneでアプリを入手する際には、初めから本体に入っている App Store(アップストア)アプリを使用します。なお、App Store以外からアプリをダウンロードすることは出来ません。



iPhoneのホーム画面(待ち受け画面)には様々なアプリのアイコンが並んでいます。ひとつのページには最大で横に4つ、縦に6つの合計24個のアイコンを並べることができるようになっています。アプリの数が増え、ひとつのページに収まらない場合には、自動でホーム画面のページ数が追加されます。また、画面の一番下にはドックと言われる最大4つのアプリを固定表示できる場所があり、ホーム画面の表示ページ数に関係なく同じアプリを表示することが可能です。ですので、iPhoneのホーム画面は見た目上最大28個のアプリが並びます。

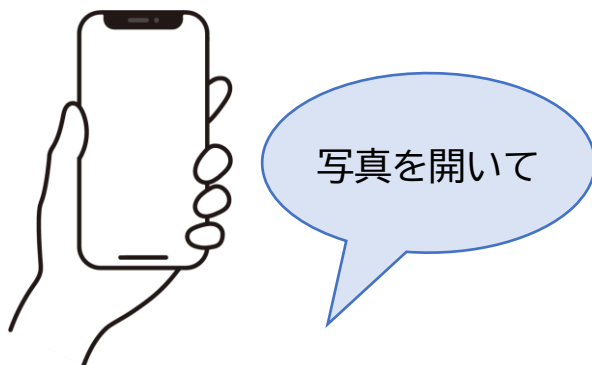
アプリの主な起動方法は次の2通りです

Siriを利用して起動

ポポンという合図音が聞こえるまでホームボタンを長押しし、「メールを開いて」や「カメラを開いて」といったように声をかけます。

これで、指定したアプリが起動します。

※ホームボタンがない機種ではサイドボタンを使用します



ホーム画面から起動

タッチやスワイプでホーム画面に並んだアプリの中から目的のアプリを選び、ダブルタップして起動します。これで、指定したアプリが起動します。

※目的のアプリが、表示しているホーム画面内に無い場合は、3本指で左右にスワイプしてホーム画面のページを切り替えます



アプリの主な終了方法はホームボタンの有無により異なります

ホーム画面に戻ったり他のアプリに切り替えても、今まで使っていたアプリは終了されず「操作していない状態」になるだけです。

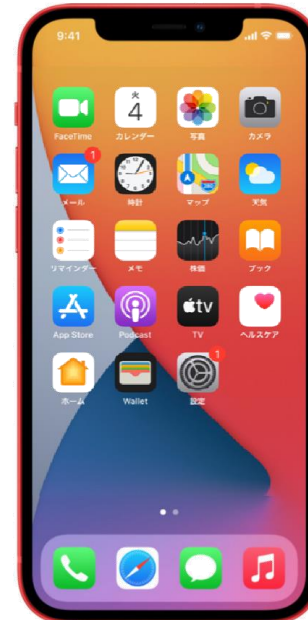
必ずしもアプリを終了させる必要はありませんが、意図しない動作をした場合やトラブルが起こった場合は、アプリの終了操作をします。

ホームボタンがある機種



ホームボタン

ホームボタンがない機種



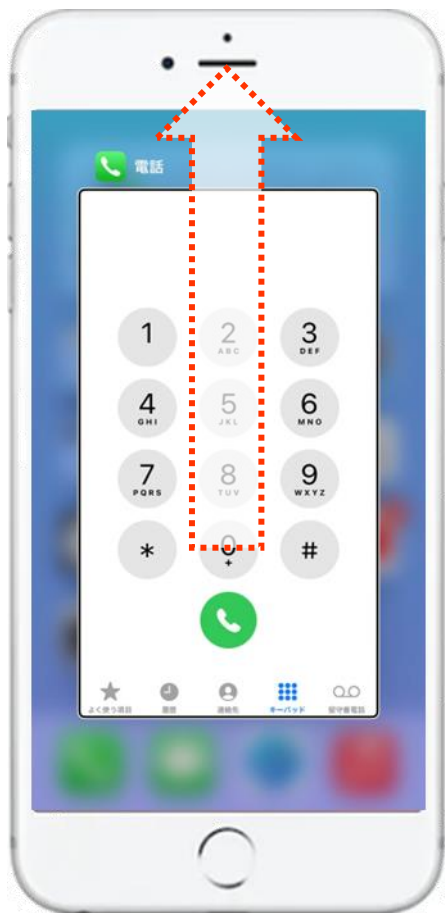
ホームボタンがある機種のアプリの終了方法

- ① ホームボタンを素早く2回押し、開いているアプリを一覧で見ることができるようになります
- ② アプリ名を読み上げるので、対象のアプリを確認します



ホームボタンがある機種のアプリの終了方法

③ 3本指で下から上にスワイプして
アプリを終了します



④ すべてのアプリを終了したら、
自動でホーム画面に戻ります



ホームボタンがない機種のアプリの終了方法

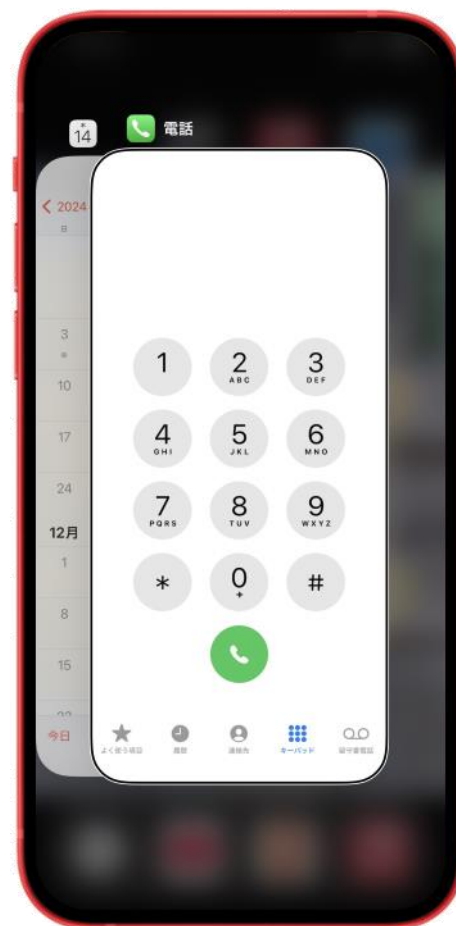
- 1 本体の下の縁から画面中央に向かって1本指でスライドすると、中心に近づくにしたがって音程が上がりながら「ポン ポン ポン」と最大3回の効果音が鳴ります



ホームボタンがない機種でのアプリの終了方法

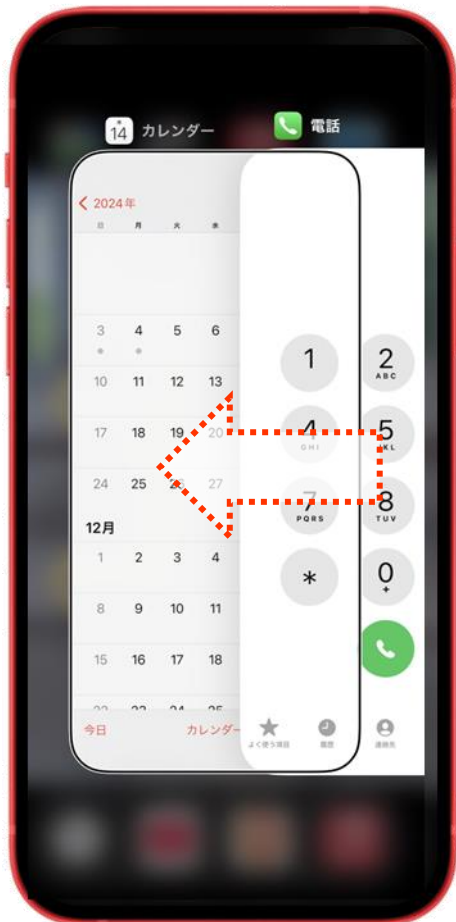
② 3回鳴ったところで指を離すと、開いているアプリを一覧で見ることができる状態になります

③ アプリ名を読み上げるので、対象のアプリを確認します

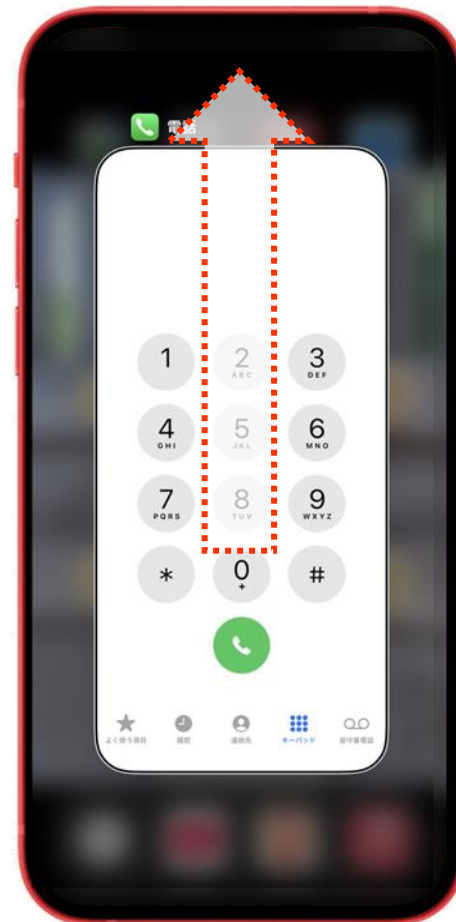


ホームボタンがない機種種のアプリの終了方法

- ④ 左右スワイプで終了させたいアプリを選択します



- ⑤ 3本指で下から上にスワイプすると、アプリが終了します



ホームボタンがない機種のアプリの終了方法

- 6 目的のアプリを終了したら、自動でホーム画面に戻ります



※すべてのアプリを終了させた場合は、自動的に開いているアプリを一覧で見ることができる状態が終了しホーム画面に戻ります